



News Letter

日本小児歯科学会九州地方会 平成29年8月31日発行

日本小児歯科学会
九州地方会事務局(平成29年度)

〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘8-35-1
鹿児島大学小児歯科学分野
TEL: (099)275-6262
FAX: (099)275-6268

日本小児歯科学会九州地方会 会長挨拶



医療法人おく小児矯正歯科 理事長
奥 猛志

日本小児歯科学会九州地方会会員の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。会員の皆様におかれましては、日頃より会務の運営にご協力いただき厚く御礼申し上げます。

平成28年10月30日(日)に宮崎市民プラザで開催されました第34回日本小児歯科学会九州地方会大会は、たくさんの参加者に恵まれました。今、歯科関係者の一番関心の深いテーマということもあり、とても活気に満ちた大会でした。また、井上浩一郎大会長自らがひょっとここに扮し懇親会も盛り上げてくださいました。大会に携わった皆様、ご苦労さまでした。

また、平成29年5月25日(木)・26日(金)に開催されました第55回日本小児歯科学会大会では九州歯科大学の牧憲司教授をはじめ、運営に関係された皆様、大変ご苦労様でした。九州の地で盛大な大会を開催していただきありがとうございました。

さて、平成29年2月1日に日本小児歯科学会は一般社団法人から公益社団法人へ移行しました。山崎要一前理事長をはじめ、関係各位のご尽力に感謝いたします。公益法人化に伴い本会の社会的使命は益々大きくなりました。地方会も、各地方会間で情報交換し、連携を取りながらシステムの構築を図って参ります。

平成29年4月9日に開催されました役員会では、平成29年度事業方針が下記のように決議決定いたしました。

1. 九州地方会運営方針の継続

- ① 地方会運営の見直し(地方会総会における役員承認および予算案審議、役員会運営方針)
- ② 小児歯科学会会員の研鑽と啓発を目的とした研

修会の企画

- ③ 九州地方会ホームページの充実と会員への周知
- ④ こども健康週間等への協力による小児科医との連携
2. 本会の公益法人化に伴う地方会のあり方の見直し
3. 会員・非会員への小児歯科臨床の普及啓発
4. 歯科衛生士会員を含む新規入会促進
5. ホームページやメールを活用した、会員連絡方法の簡素化
6. 他職種連携の推進
7. 専門医のレベル向上(専門医認定更新発表内容検討)
8. 歯科医師(特に女性)の勤務環境整備(小児歯科医バンクの活用)

上記の計画に基づき、歯科衛生士会員へ研修と新規入会促進のため、平成29年6月18日には鹿児島で歯科衛生士フォーラム2017を開催いたしました。また、小児歯科臨床の普及啓発のための研修会は、平成29年11月12日に沖縄での開催を予定しております。

今後とも、皆様のご協力、どうぞよろしくお願いいたします。

日本小児歯科学会九州地方会 副会長挨拶



福岡歯科大学 成長発達歯学講座
成育小児歯科学分野 尾崎 正雄

皆様におかれましては、お元気でお変わりなくお過ごしでしょうか？さて、私事で恐縮ですが、今年の11月で還暦を迎えました。60歳になった私に何が出来るのか？私にとって理想とは何なのか？自問自答する毎日であります。この様な状況下で私は2～3決めたことがあります。1つは、2020年に第58回日本小児歯科学会大会および総会を沖縄で開催すること。これは、沖縄の子ども達がむし歯で大変困っていることと、沖縄に小児歯科専門医が少ないことの2点から決めました。2つ目は、アメリカのう蝕予防システムであるCAMBURAを診療に取り入れること。これは、カリフォルニア大学サンフランシスコ校歯学部が開発したう蝕予防システムで、カリオロジーと齲蝕リスク管理をベースとした方法です。全米のほとんどの大学でこの方法を教育に取り入れています。しかし、日本での紹介が始まったばかりなので、米国UCLAの小児歯科教授Prof. Francisco Ramos-Gomez先生を招聘して勉

強会を7月に開催いたしました。最後の1つは、60歳の手習いとして学生教育や医局管理のためにコーチングスクールに通うことにしました。コーチングは、日産の企業再建のためにゴーン氏が取り入れたことや錦織圭の活躍で知られていますが、歯科ではまだあまり取り入れられていません。このコーチングを取り入れることで院内スタッフや患者さんとのコミュニケーションが良くなり、歯科界にとっても明るい未来が開けると考えています。このコーチングも何時か紹介したいと思っています。来年の九州地方会は、福岡歯科大学が主催して福岡県歯科医師会館での開催を予定しています。また、今年佐賀で開催される地方会で皆様と楽しく語らうことを楽しみにしています。それまで皆様もお元気で明るくお過ごしください。

日本小児歯科学会九州地方会 副会長挨拶



日本小児歯科学会九州地方会 副会長
鹿児島大学 山崎 要一

昨年度に引き続き、日本小児歯科学会九州地方会の副会長として奥会長の下、九州地方会の運営に携わらせて頂いております。微力ではございますが九州地方会の益々の発展に貢献できるよう努力する所存でございます。

さて、昨年10月31日に宮崎市におきまして第34回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会を開催するにあたり、準備委員長を担当させて頂きました。宮崎での九州地方会は約20年振りの開催でしたが、皆様の厚いご支援により350名のご参加を頂きまして盛会に終わることができました。昨今の歯科医療におきまして、口腔機能、摂食嚥下リハビリテーション、多職種連携の必要性が声高に叫ばれておりますが、これらは

成人に限ったことではなく、むしろ小児期において成育的観点から重要と考えており、地方会大会でもこれらの内容を盛り込むことで、今後の小児歯科の方向性を示すことができたのではと考えております。

さらに、本年2月に公益社団法人日本小児歯科学会として新たなスタートを切ることになりました。理事長として公益法人化を推進した立場にあり、感慨ひとしおといったところです。今後は公益法人化に伴う九州地方会のあり方について活発な議論と行動が求められます。会員の皆様のご協力をお願いします。

第34回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会開催報告

第34回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会
 会長のうえ小児歯科 院長 井上浩一郎

第34回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会は、鹿児島大学が担当し、準備委員長に山崎要一教授、補佐に佐藤秀夫講師として、宮崎市の宮崎市民プラザにて、平成28年10月30日(日)に開催されました。宮崎での地方会開催は、先代の鹿児島大学の小椋正教授の元で行われてから20年ぶりとなりました。個人的には、その両方の開催に携わることとなり、感慨深いものがありました。また、今回は、懇親会を大会前日である土曜日の夜に行いました。大会、懇親会ともに多くの皆様にご参加いただき、深謝しております。

大会のメインテーマは「宮崎からこどもの未来につなごう! ～いま、小児歯科に求められるもの～」とし、特別講演Ⅰでは、あいうべ体操でお馴染みのみらいクリニック院長の今井一彰先生により「息育のすすめ～口は食物と空気の通り道～」をご講演いただき、それに関連して、ランチョンセミナーでは、その機能の評価に今後欠かせなくなると思われるりっぷるくんについて、新潟大学大学院医歯学総合研究科小児歯科学分野准教授の齊藤一誠先生により「口呼吸と口唇閉鎖～りっぷるくんの臨床～」としてご講演いただきました。さらに、特別講演Ⅱでは、日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック口腔リハビリテーション科科長の田村文誉先生により「摂食嚥下機能に遅れや障害のある子どもへの支援」をご講演いただきました。シンポジウムでは「小児の在宅医療を考える」をテーマに、医療法人天翔会看護部長鹿児島こども訪問

看護ステーション管理者の渡邊理恵先生により「在宅療養児の食の支援を考える～多職種連携の重要性～」、西国領歯科医院副院長の西国領俊子先生により「小児の在宅医療～支える私が支えから学んだこと～」、宮崎県立こども療育センター小児科医師の澤田一美先生により「医師の立場から」をご講演いただき、ディスカッションが行われました。メインテーマの「宮崎から」にこだわったものとして、宮崎県は『お菓子の購入率』全国第1位で、10歳女子の肥満率は全国第1位、男子は第2位ということで、近年、市民に対し糖尿病に関する話題が行政からの広報誌などで提供されています。そこで、歯科衛生士セミナーでは、にしだわたる糖尿病内科院長の西田互先生により「こどもたちを糖尿病から守る歯科衛生士～チェアサイドに必要な糖代謝異常の知識～」をご講演いただきました。

一般展示発表が31演題、認定歯科衛生士申請症例が2演題、参加者は約350名と陸の孤島といわれる宮崎へ多くの皆様にご参加いただき、盛り上げていただきましたこと。感謝の念に堪えません。また、奥猛志会長以下、すべての役員の方、大会の準備や運営にご尽力くださった鹿児島大学の先生方や協力していただいた鹿児島と宮崎の仲間である先生方、さらに多くの関係者各位に支えられ、大会を終えることができました。心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



第34回日本小児歯科学会九州地方会総会議事録

1. 開会の辞
奥会長より開会の辞が述べられた。
2. 日本小児歯科学会理事長挨拶
木本理事長より挨拶が述べられた。
3. 議長選出
入江英仁先生が議長に選出された。
4. 議事
 - 1) 平成28～29年度役員について
奥会長より役員紹介が行われ、承認された。
 - 2) 第33回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会会計決算報告
 - 3) 平成27年度日本小児歯科学会九州地方会会計決算報告
以上2項目について、佐藤幹事より報告された
 - 4) 第33回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会決算および平成27年度日本小児歯科学会九州地方会会計決算監査報告
久芳監事より監査報告が行われ、承認された。
- 5) 平成28年度日本小児歯科学会九州地方会予算案について
橋口幹事より予算案が報告され、承認された。
- 6) 第36回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会開催地について
尾崎副会長より福岡歯科大学が担当で平成30年10月21日(日)に福岡県歯科医師会館にて開催されることが提案され、承認された。
5. その他
 - 1) 第35回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会大会長挨拶
原 大会長補佐より挨拶があった。
 - 2) 第55回日本小児歯科学会大会長挨拶
牧幹事より挨拶があった。
6. 閉会の辞
尾崎副会長より閉会の辞が述べられた。

第35回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会のお知らせ

大会長 寺尾 隆治
準備委員長 藤原 卓
大会長補佐 原 秀幸

この度、第35回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会を佐賀の地にて開催させていただきますことに、感謝申し上げますと共に、多くの会員の皆様のご参加ならびにご発表をお待ちしております。ここ佐賀県での地方会は、平成7年の第13回大会以来の22年ぶりとなり、また会場も本年4月に新築したばかりの佐賀県歯科医師会館で行うこととなりました。なお、大会前日に開催いたします懇親会につきましても、関係者一同“おもてなし”の心を持って誠心誠意お出迎え致したいと思いますので、多くの皆様にご参集いただき、より一層のご親睦を深めていただければ幸いです。

メインテーマ：笑顔とお口の健康づくり
～夢をバルーンにのせて！～

1. 大会期日：平成29年11月19日(日)
2. 会場：佐賀県歯科医師会館
〒840-0045 佐賀市西田代二丁目5番24号
TEL .0952-25-2291
FAX .0952-22-7586
懇親会会場：ホテル グランデ はがくれ 2F
「シンフォニーホール」
11月18日(土) 18:30～
〒840-0815 佐賀市天神二丁目1番36号
TEL .0952-25-2212
FAX .0952-24-2727
3. 大会内容
 - 1) 基調講演

「楽しい学校歯科保健 ～これからの学校歯科医～」

医療法人アリスバンビーニ小児歯科
理事長 丸山進一郎 先生

2) 特別講演

「齲蝕と間違えやすいエナメル質形成不全」
東京歯科大学小児歯科学講座
教授 新谷 誠康 先生

3) シンポジウム

テーマ「特別支援を要するすべての子どもたちへ」

I 「佐賀県特別支援学校の現状について」
佐賀県学校歯科医会委員会
委員長 舩元 康浩 先生

II 「療育医療センター若楠療育園の取り組み」
療育医療センター若楠療育園
歯科部長 久保田智彦 先生

III 「佐賀整肢学園からつ医療福祉センターの取り組み」
佐賀整肢学園からつ医療福祉センター
歯科医師 石井 光治 先生

IV 「特別支援学校 学校歯科医の取り組み」
佐賀県立伊万里特別支援学校
学校歯科医 堀江 稔 先生

4) 歯科衛生士セミナー

「学校歯科保健の基礎知識～明るく楽しい学校歯科保健活動のために～」

埼玉県歯科医師会 常務理事 齋藤 秀子 先生

5) ランチョンセミナー

「口呼吸症候群と口唇閉鎖～りっぷるくんの臨床」

新潟大学大学院医歯学総合研究科小児歯科学分野
准教授 齋藤 一誠 先生

6) 一般講演：展示発表

7) 専門医・認定医・認定歯科衛生士資格更新のための展示発表

4. 会費：歯科医師 5,000円 歯科衛生士・その他 2,000円 懇親会費：5,000円

5. 本大会に関する問い合わせ
第35回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会事務局

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科小児歯科学分野内 事務局担当：釜崎陽子

〒852-8588 長崎県長崎市坂本1丁目7-1

T E L .095-819-7674 F A X .095-819-7675

E-mail : saga.kyushuchihoukai@gmail.com

もしくは、佐賀県歯科医師会事務局

〒840-0045 佐賀市西田代二丁目5番24号

T E L .0952-25-2291 F A X .0952-22-7586

E-mail : sda@ia7.itkeeper.ne.jp

(件名の最初に【第35回九州地方会】と記載をお願いします)

第36回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会のお知らせ

この度、第36回日本小児歯科学会九州地方会大会は、福岡歯科大学が担当として、準備を進めております。近年、子どもたちの口腔の健康に関わる小児歯科の役割は、大きく拡がり多様化してきています。このような中で、小児医療に関わる様々な専門家とのつながりをさらに深くしていかななくてはなりません。そこで、大会のメインテーマを「多職種連携における小児歯科の役割」といたしました。

小児の成長発達に関しては小児科との連携について、発音機能から考える小児の口腔機能については言語聴覚士と、そして、埋伏歯治療の診断と治療の実際については、口腔外科・矯正歯科との連携を軸として、特別講演、シンポジウムを企画しております。

例年通り展示発表、商業展示も予定しております。また、懇親会は、大会前日の10月20日(土)夕方～予定しております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日 時：平成30年10月21日(日)

8：30～17：00

場 所：福岡県歯科医師会館

大会 長：尾崎 正雄

実行委員長：岡 暁子

事務局：福岡歯科大学成長発達歯学講座育成小児歯科学分野

平成28年度 日本小児歯科学会九州地方会 会計報告

単位：円

収入	
前年度繰越金	1,888,723
日本小児歯科学会より入金	779,500
利息	3
合計	2,668,226

支出	
第34回日本小児歯科学会九州地方会大会援助金	500,000
ニュースレター印刷費・郵送費	116,856
学術振興費	138,600
ホームページ管理・更新費	243,000
会議費	127,985
通信費	84,396
雑費	15,917
予備費（繰越金）	1,441,472
合計	2,668,226

上記の決算に間違いのないことを証明します。

会計監査 久芳 陽一

会計監査 旭爪 伸二

第34回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会収支報告

単位：円

【収入】		
日本小児歯科学会九州地方会より補助金		500,000
大会参加費	歯科医師 5,000円×155名	775,000
	コデンタル 2,000円×83名	166,000
協賛金		950,000
企業展示・広告		385,000
懇親会費	5,000円×69名	345,000
利息		2
合計		3,121,002

【支出】	
会館使用料	267,194
会場設営費	143,640
印刷費	482,652
懇親会費	480,864
講師謝礼	520,910
宿泊費	229,388
交通費	77,440
運営費	417,050
準備費	103,320
郵送代	204,298
物品費	184,958
振込手数料	9,288
合計	3,121,002

平成29年3月31日
上記相違ありません。

会計監査 久芳 陽一
会計監査 旭爪 伸二

歯科衛生士フォーラム2017開催報告

日本小児歯科学会九州地方会は、小児歯科臨床の普及ならびに歯科衛生士会員、認定歯科衛生士の増加を図る目的で、歯科衛生士活性化委員会を発足しました。今回は普及活動の一環で、歯科衛生士向けの研修会として「歯科衛生士フォーラム2017」を企画しました。

平成29年6月18日に鹿児島県歯科医師会館にて各学会の認定歯科衛生士を招き、各専門分野の立場から明日の臨床にとって有意義な内容のお話を頂きました。

大内山晶子先生には、「歯科衛生士が行う小児歯科における行動管理」と題して、レディネスを考慮した患者管理について動画を交えてわかりやすく解説して頂きました。坂口知穂先生には、「歯科衛生士が行う小児歯科におけるう蝕予防管理」と題して、定期健診の重要性と歯科衛生士の果たす役割について解説して頂きました。向 江海子先生には日本歯周病学会認定歯科衛生士の立場から、「歯周病専門医院における歯科衛生士の役割と小児期から行う歯周疾患へのアプローチ」と題して、小児歯科臨床の歯周疾患予防におい

て果たすべき役割をわかりやすく講演して頂きました。当日の参加者は130人を超え研修会中は熱心に聴講する姿が見受けられました。本文面を拝借して、ご協力頂きました関係各位に心よりお礼申し上げます。

(文責 石谷 徳人)



平成28年度第1回日本小児歯科学会九州地方会役員会議事録

平成28年4月17日(日)開催予定の役員会は4月14日、16日未明に発生した熊本地震により、役員会の開催(鹿児島市)は困難と判断し、報告ならびに審議事項を会長より各役員へ4月22日(金)に電子メール配信(議案ならびに資料1~11添付)し、意見を集約した。

出席者：奥 猛志、尾崎正雄、山崎要一、野中和明、牧 憲司、藤原 卓、岡 暁子、山座治義、西田郁子、星野倫範、佐藤秀夫、空田安博、橋本敏昭、舩元康浩、高風亜由美、京極絵美、木船敏郎、井上浩一郎、重田浩樹、竹島勇、旭爪伸二、久芳陽一、田中克明、石谷徳人、長谷川大子、橋口真紀子、柳田憲一、佐伯 桂(敬称略)

日本小児歯科学会九州地方会役員各位

このたびは、熊本大分地震に被災された先生方には

お見舞い申し上げます。一日も早い復旧をお祈りいたします。今回の地震のため、4月17日(日)予定の役員会が中止となり、ご迷惑をおかけしました。多くの事業が、役員会の承認を得なければ実施できず、今後の地方会運営に支障をきたします。しかし、交通網の寸断や熊本の被災状況等を考慮すると、近々に役員会を開催することは不可能と考えられます。そこで、下記に呈示しております喫緊の案件に関してはメール会議にて御承認をいただき、事業を遂行いたしたいと思っております。資料をご確認、ご承認いただき、返信の程、どうぞよろしく願いいたします。また、ご意見などございましたらあわせてお願いいたします。今後ですが、例年7月の第2回役員会を6月に開催し、未審議事項を協議したいと考えております。

九州地方会会長 奥 猛志

1. 報告事項

1) 平成28-29年度日本小児歯科学会九州地方会役

員紹介（資料1）

- 2) 日本小児歯科学会九州地方会会則確認（資料2）
- 3) 第34回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会準備状況について（資料3）
- 4) 平成27年度日本小児歯科学会九州地方会補助事業について（資料4）

2. 審議事項

- 1) 平成27年度日本小児歯科学会九州地方会会計報告（資料5）
- 2) 第33回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会会計報告（資料6）
- 3) 1) および2) に対する会計監査報告
- 4) 平成28年度九州地方会事業計画（資料7）
- 5) 平成28年度九州地方会予算案（資料8）
- 6) 歯科衛生士委員会案（資料9）
- 7) 地方会大会優秀発表賞案（資料10）
- 8) ニュースレターの発刊について（資料11）

3. 審議結果

会議出席者数 28名
 役員総数 26名
 議決権のある役員数 23名（議事提案者である会

長および監事2名を除く）

審議事項全承認 18名
 審議事項部分承認 3名
 未回答 1名

4. 意見等

- ① 審議事項2) に関して、赤字決算に対する九州地方会会計からの補填
- ② 平成28年熊本地震への義援金
- ③ 審議事項6) に関して、名称、役割の見直しについて
- ④ 審議事項7) に関して審査委員の選出方法（特に大会長の扱いについて）

以上、上記①～④については次回第2回役員会の議題とすることとなった。

5. 平成28年度第2回日本小児歯科学会九州地方会役員会開催予定

日時：平成28年6月5日(日)
 10時30分～12時30分 役員会
 13時～15時 懇親会

場所：おく小児矯正歯科2階研修室
 〒890-0034 鹿児島市田上5-4-27
 TEL 099-214-6471

平成28年度第2回日本小児歯科学会九州地方会役員会議事録

開催日時：平成28年6月5日(水) 10:30～12:45
 開催場所：医療法人 おく小児矯正歯科（鹿児島市）
 2階研修室

出席者：奥 猛志、尾崎正雄、山崎要一、牧 憲司、
 西田郁子、岡 暁子、山座治義、石谷徳人、
 田中克明、空田安博、橋本敏昭、木船敏郎、
 高風亜由美、京極絵美、井上浩一郎、
 旭爪伸二、佐藤秀夫、橋口真紀子、
 長谷川大子、柳田憲一

欠席者：野中和明、藤原 卓、星野倫範、舩元康浩、
 重田浩樹、竹島 勇、久芳陽一（敬称略）

1. 開会の辞

尾崎副会長より開会の辞が述べられた。

2. 会長挨拶

奥会長より会長挨拶が述べられた。

3. 報告事項

1) 第1回役員会議事録確認

奥会長より、第1回役員会の議事録（資料1）、役員名簿（資料2）、九州地方会会則（資料3）、事業計画（資料4）、予算案（資料5）、九州地方会会員動向（資料6）について報告を行った。

2) 日本小児歯科学会理事会報告

奥会長より、資料7をもとに九州地方会会員の日本小児歯科学会理事その他役員就任状況について報告を行った。また、山崎副会長より日本小児歯科学会の公益法人化の進捗状況について報告があり、尾崎副会長より公益化後の九州地方会としての対応の必要性について説明があった。

3) 第34回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会準備状況について

井上大会長より資料8および16をもとに、第34回大会の準備状況について報告があり、懇親会を

大会前日の夜に開催する旨および歯科衛生士セミナーについては日本糖尿病協会の指定研修となるよう申請中であることが報告された。

4) 第35回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会準備状況について

奥会長より、資料9をもとに平成29年11月19日(日)に佐賀県歯科医師会館で長崎大学と佐賀県歯科医師会による主催で開催予定であることが報告された。

5) 第55回日本小児歯科学会大会および総会について

牧先生より、資料18をもとに第55回日本小児歯科学会大会および総会を平成29年5月25日、26日に西日本総合展示場新館(北九州市)にて九州歯科大学の主管で開催準備が進んでいることが報告された。橋本先生よりJSPP全国集会の案内について報告された。

6) 西日本歯科保健健康会議の発足について

尾崎副会長より学校歯科保健に関する多職種の研究會である西日本歯科保健健康會議が5月7日に発足し、尾崎副会長が初代会長に就任したことが報告された。

7) 熊本地震について

京極先生より、被災および現況についての報告と各方面からの支援に対する謝辞が述べられた。山崎副会長より、九州各大学からの医療支援および日本小児歯科学会からの物資支援と義援金の募集に関する報告があった。奥会長から九州地方会および第34回大会において義援金等の支援方法を検討する旨が述べられた。

4. 議長選出

奥会長より石谷徳人先生が議長に選出された。

5. 審議事項

1) 第33回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会会計について

柳田大会長より資料10をもとに海外講師の招聘に伴う交通費等により会計収支が69,519円の赤字収支となっていることが報告され九州地方会会計から補填の要請があった。同赤字に関しては大会運営が適切に行われ、かつ赤字額が九州地方会余剰金と比較して少額であることから、平成27年度九州地方会予算を修正して、赤字補填することが承認された。また、地方会大会への補助金額については、地理的条件等、各大会の状況を鑑みて役

員会にて審議して変更することも了承された。

2) 歯科衛生士活性化委員会について

奥会長より、資料11をもとに歯科衛生士が九州地方会において積極的に参画することを目的とした、委員会を九州地方会内に設立すること、委員長は石谷徳人先生とすることが提案され、同提案は承認された。各役員からの意見として、認定歯科衛生士取得後の年会費が1万円に増額し負担が増えること、地方から歯科衛生士セミナーへの参加が困難であること、認定歯科衛生士取得後の更新が困難であること等が挙げられ、今後の検討課題となった。

3) 地方会大会優秀発表賞について

奥会長より、資料12をもとに地方会大会における演題発表の活性化および大会優秀発表賞創設の提案がされた。各役員より、日本小児歯科学会公益法人化後の規約との関係性に矛盾が生じるおそれおよび同賞に係る経費の負担等の問題点の指摘があり、第34回大会に限定して大会優秀発表賞を創設することが再提案され、同提案は了承された。第34回大会以降の同賞に関しては、今後の検討課題となった。

4) 第36回日本小児歯科学会九州地方会及び総会開催地について

奥会長より、資料17を用いて近年の主管大学等の順序性より、福岡歯科大学が主管となることが提案され、同案は承認された。

5) 九州地方会県代表幹事の選出方法等について

山崎副会長より、1名の県代表幹事が推薦により選出された後に辞退したことを受けて、今後の選出等に影響が出るのではとの懸念が示された。県代表幹事の選出方法については今後の検討課題となった。

6. 総評

旭爪監事より、今回は活発な議論が行われた充実した役員会であり、今後も九州地方会役員会を通して小児歯科九州地方会の発展を期待しますとの総評を頂いた。

7. 閉会の辞

山崎副会長より閉会の辞が述べられた。

平成28年度第3回日本小児歯科学会九州地方会役員会議事録

開催日時：平成28年10月29日(土) 17:00~18:00

開催場所：宮崎市民プラザ(宮崎市) 4階中会議室

出席者：奥 猛志、尾崎正雄、山崎要一、牧 憲司、藤原 卓、西田郁子、岡 暁子、山座治義、星野倫範、石谷徳人、田中克明、空田安博、橋本敏昭、木船敏郎、高風亜由美、舛元康浩、京極絵美、重田浩樹、井上浩一郎、久芳陽一、旭爪伸二、佐藤秀夫、橋口真紀子、長谷川大子、原 秀幸(佐賀県歯科医師会理事)

欠席者：野中和明(敬称略)

1. 開会の辞

尾崎副会長より開会の辞が述べられた。

2. 会長挨拶

奥会長より会長挨拶が述べられた。

3. 報告事項

1) 第34回日本小児歯科学会九州地方会総会および大会準備状況について

井上大会長より準備状況に関する報告があり、順調に準備が進んでいる旨の説明があった。

2) 大会優秀発表賞審査状況

牧先生より、資料2をもとに第34回大会における大会優秀発表賞審査に関する説明があり、応募18名から最終審査ノミネートが6名に絞られたことが報告された。

3) 第35回日本小児歯科学会九州地方会総会および大会準備状況について

原大会長補佐より資料3をもとに、第35回大会の準備状況について報告があり、平成29年11月19日(日)に佐賀県歯科医師会館における開催概要が報告された。

4) 第55回日本小児歯科学会準備状況について

牧先生より、資料4をもとに第55回日本小児歯科学会が平成29年5月25日(木)、26日(金)に北九州市小倉北区西日本総合展示場新館において開催される旨および準備状況が報告された。

5) 歯科衛生士活性化委員会研修会について

奥会長より、平成29年6月頃に鹿児島市にて研修会を開催予定であることが報告された。

6) 国際小児歯科学会への開催地立候補について

藤原先生より2023年の国際小児歯科学会への開

催地として長崎市が立候補予定であることが報告された。

7) 全国小児歯科開業医会全国集会のお知らせ

橋本先生より平成29年5月24日(水)に全国小児歯科開業医会全国集会が橋本先生を大会長としてホテルクラウンパレス小倉で開催されることが報告された。

8) 専門医更新症例について

久芳先生から専門医認定医委員会からの要請として専門医更新症例の内容として統計調査ではなく、症例報告を出し、大会プログラムにも「専門医・認定医の更新審査用の展示発表は、症例報告に限ります。」等の文言を加筆するようにとの報告および依頼があった。

9) その他

藤原先生から、アメリカでの生活歯髄切断後のマイコバクテリウム感染例が報告された。

山崎先生から韓国小児歯科学会が平成29年4月22日、23日に開催される旨が報告された。

4. 議長選出

奥会長より舛元康浩先生が議長に選出された。

5. 審議事項

1) 小児歯科学会からの震災義援金の取り扱いについて

奥会長より日本小児歯科学会からの震災義援金41万円の取り扱いに関して、同義援金を熊本県の小児歯科学会の会員の平成29年度年会費を免除する資金に充てる案が提案され了承された。

2) 第34回日本小児歯科学会九州地方会総会式次第について

奥会長より、資料5をもとに第34回日本小児歯科学会九州地方会総会式次第案について説明があり、同案は了承された。

3) 第36回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会について

尾崎副会長より、第36回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会を平成30年10月21日(日)に福岡県歯科医師会館にて開催し、懇親会を前日の同年10月20日(土)に行うことが提案され、同案は了承された。

4) 小児歯科研修会

奥会長より、平成29年度の小児歯科研修会を沖縄県で開催することが提案され、同案は了承された。

5) 沖縄小児歯科集談会の地域研修会の推薦について

尾崎副会長より、沖縄の小児歯科臨床の普及、啓発を目的として、小児歯科学会に地域研修会として認定してもらうよう九州地方会から推薦する旨が提案され、同案は了承された。

6. 総評

久芳監事より、今回は活発な議論が行われた充実した役員会であり、今後も九州地方会役員会を通して小児歯科九州地方会の発展を期待しますとの総評を頂いた。

7. 閉会の辞

山崎副会長より閉会の辞が述べられた。

日本小児歯科学会九州地方会平成28・29年度事業 中間報告

1. 前年度までの九州地方会運営方針の継続

① 小児歯科学会会員の研鑽と啓発を目的とした研修会の企画

平成29年11月12日(日) 沖縄県歯科医師会会館で開催予定

講師：奥 猛志、牧 憲司、佐藤秀夫

② 九州地方会ホームページの充実と会員への周知

③ こども健康週間等への協力による小児科医との連携

2. 本会の公益法人化に伴う地方会のあり方の見直し
地方会連絡協議会で各地方会と情報交換しながら対応

3. 会員・非会員への小児歯科臨床の普及啓発

地方会大会での教育研修

小児歯科研修会の開催（平成29年11月沖縄予定）

4. 準会員を含む新規入会促進

歯科衛生士会員へ向けの研修

平成29年6月に鹿児島での研修会

5. ホームページやメールを活用した、会員連絡方法の簡素化

6. 多職種連携の推進

7. 専門医のレベル向上（専門医認定更新発表内容検討）

本会専門医委員会、各地方会での対応確認

8. 歯科医師（特に女性）の勤務環境整備（小児歯科医バンクの活用）

9. 開業医間の情報交換（JSPPおよびStudy groupとの連携）

九州地区の小児歯科学研究会

研究会名	代表者	事務局	事務連絡先		連絡者 メールアドレス	電話番号	FAX番号	地域単位 の研修会
沖縄小児歯科 研究会	竹島 勇	加藤真由美	903-0806	那覇市首里汀良町 3-63-3 ハイビスカ スマンション2F くばがわ歯科医院	milkyway.6480@ utopia.ocn.ne.jp	098-887-6480	098-887-6481	×
小児歯科臨床を 語る会	奥 猛志	重田 浩樹	895-0012	薩摩川内市平佐町 3605-11	shigetakodomo@ athena.ocn.ne.jp	0996-24-2564	0996-24-2565	×
宮崎障害者歯科 懇談会	安部 喜郎		880-0834	宮崎市新別府町久 保田683-1 宮崎歯 科福祉センター	d-senter@mnet. ne.jp	0985-83-3344	0985-83-3345	×
宮崎小児歯科 臨床懇話会	旭爪 伸二		880-0872	宮崎県宮崎市永楽 町207番地-1 わか ば小児歯科	wakaba@ miyazaki-catv. ne.jp	0985-27-2003	0985-25-1047	×
熊本小児歯科 懇話会	逢坂 亘彦	入江 英仁	861-3206	上益城郡御船町辺 田見366-1 入江歯 科医院	e.irie@mail.sysken. or.jp	096-282-3188	096-282-3177	×
長崎小児歯科 臨床医会	高風亜由美	堀内 礼子	854-0001	諫早市福田町37-3 堀内歯科	aya_dent@yahoo. co.jp	0957-21-5333	0957-21-5332	○
佐賀小児歯科 研究会	梅津 哲夫		849-0935	佐賀県佐賀市八戸 溝3-8-2 うめづ歯 科・小児歯科医院	umedusika@mbn. nifty.com	0959-30-2555	0959-30-5566	×
北九州小児歯科 臨床研究会	空田 安博		807-0874	福岡県北九州市八 幡西区大浦1丁目 5-15 そらだ小児歯 科医院	info@sorada.or.jp	093-602-8369	093-602-8381	×
月曜会	中尾 哲之 (世話人代行)		813-0013	福岡市東区香椎駅 前1-9-8 第2エクセ レント桜井2F なか お小児歯科	nakatetsu2003@ jcom.home.ne.jp	092-661-2370	092-661-2380	×
NPO法人ウェル ビーイング	中村 譲治		810-0041	福岡市中央区大名 1丁目15-24 Well- Being BLDG 2F	jimukyoku@well- being.or.jp	092-771-5712	092-741-8037	×
福岡小児歯科 集談会	二木 昌人		810-0022	福岡市中央区薬院 4-1-26 薬院大通セ ンタービル2F ふた つき子ども歯科	fc-dental@san. bbiq.jp	092-523-7560	092-523-7540	○
小児口腔 医療研究会	橋本 敏昭	福岡歯科大学 成育小児歯科 科学分野	814-0193	福岡市早良区田村 2-15-1 成育小児歯科学分 野内	pedoral@college. fdcnet.ac.jp	092-801-0411	092-801-0692	○

九州地区 5大学講座一覧

大学分野名	主任教授名	郵便番号	住 所	電話番号	FAX番号
九州大学大学院 歯学研究院口腔保健推進学講座 小児口腔医学分野	野中 和明	812-8582	福岡市東区馬出3-1-1	092-642-6402	092-642-6468
九州歯科大学 健康増進科学講座 口腔機能発達学分野	牧 憲司	803-8580	北九州市小倉北区真鶴2-6-1	093-582-1131	093-583-5383
福岡歯科大学 成長発達歯学講座 成育小児歯科学分野	尾崎 正雄	814-0193	福岡市早良区田村2-15-1	092-801-0411 (代表)	092-801-0692 (医局直通)
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 医療科学専攻 展開医療科学講座 小児歯科学分野	藤原 卓	852-8588	長崎市坂本1-7-1	095-819-7674	095-819-7676
鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 健康科学専攻 発生発達成育学講座 小児歯科学分野	山崎 要一	890-8544	鹿児島市桜ヶ丘8-35-1	099-275-6262	099-275-6268

平成28年度九州地方会小児歯科研修会 開催報告

地域での小児歯科臨床の啓発と活性化を目的として、日本小児歯科学会九州地方会では研修会を開催しています。平成28年度は、平成28年6月4日に福江南松歯科医師会の先生方を対象に長崎県五島市カンパナホテルで開催しました。五島地域は小児歯科専門医がおらず離島であるため、一般開業医の先生方が小児歯科診療を請け負っています。そこでこれらの先生方に向けた子どもの歯科診療に役立つものをとということ

で、「こども治療のコツと病診連携 一応急処置から全身麻酔下歯科治療まで」と題し、長崎大学小児歯科の藤原卓教授と星野倫範准教授が講演を行い、日々の小児歯科治療から大学への紹介までに関し有意義な交流と連携を図ることが出来ました。

(文責 星野倫範)



平成29年度専門医セミナーのご案内

専門医セミナー

日時：平成29年12月17日(日) 12:45~16:00

会場：岡山大学 MUSCUT CUBE

テーマ：地域の小児歯科保健

講師

1. 北原 稔先生 (小田原保健福祉事務所足柄上センター 所長)

「神奈川県保健福祉事務所における地域乳児歯科保健活動

～重度う蝕等ハイリスク予防と摂食機能発達支援の地域展開の現状～」

2. 丸山進一郎先生 (医療法人アリスバンビーニ小児歯科 院長)

「学校歯科保健の使命—小児歯科専門医のなすべきこと—」

日時：平成30年2月4日(日) 12:45~16:00

会場：九州大学歯学部本館

テーマ：医科歯科連携

講師

1. 大慈弥裕之先生 (小田原保健福祉事務所足柄上センター 所長)

「小児歯科に必要な形成外科の知識—口唇口蓋裂と他の先天異常—」

2. 柳田 憲一先生 (地方独立行政法人福岡市立病院機構 福岡市立こども病院 小児歯科・科長)

「医科歯科連携を視野に入れた障がい児および有病児の対応」

専門医・認定医合同セミナー

日時・会場：第1回 平成29年9月17日(日)

12:45~16:00

大阪歯科大学創立100周年記念館

第2回 平成29年9月23日(土・祝)

12:45~16:00

鶴見大学記念館

テーマ：スポーツ歯科について

講師：

1. 上野 俊朗先生 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科スポーツ医歯学分野 准教授)

「知っておきたいスポーツ歯科の知識—競技者の健康管理、治療とドーピング—」

2. 月村 直樹先生 (日本大学歯学部歯科補綴学第II講座 准教授)

「各種スポーツにおける口腔内外傷の実態とその対応—スポーツにおける歯科医師が担う役割—」

3. 飯沼 光生先生 (朝日大学歯学部小児歯科学分野 教授)

「小児期のマウスガード」

参加申し込み方法

学会誌に掲載の申し込み用紙をコピーするか学会のホームページ <http://www.jspd.or.jp/contents/main/meeting/seminar02.html> から申込書をダウンロードして記入の上、FAXにて小児歯科学会事務局までお申し込みください。

次回専門医試験日程のお知らせ

詳細は、日本小児歯科学会HP (<http://www.jspd.or.jp/contents/gakkai/specialist/index.html>) をご確認ください。

平成30年2月1日	専門医申請書類の受付開始
平成30年3月31日	専門医申請書類締切 (必着)
平成30年4月	専門医認定委員会の開催 (専門医申請書類の審査)
平成30年6月	専門医申請書類の審査に合格した者を対象に専門医試験を実施
平成30年9月	理事会において、専門医試験に合格した者の承認

日本小児歯科学会九州地方会会則

(平成23年10月10日一部改正)

第1条 本会は日本小児歯科学会九州地方会と称する。

第2条 本会は小児歯科を通じ地域の小児保健の向上に貢献するとともに必要とされる調査研究を行い発表と知識の普及を計ることを目的とする。

第3条 本会の事務局は別に定める所におく。

第4条 本会の会員は九州地区ならびに沖縄県に居住する日本小児歯科学会会員で構成する。

第5条 1. 本会に次の役員を置き、役員会を構成する。

会長 1名

副会長 2名

常任幹事 5名

幹事 若干名

・庶務幹事、会計幹事、広報幹事は本部役員幹事とする。

・次期大会長、地方会推薦理事、本会理事長推薦理事は特別幹事とする。

・大学代表幹事と県代表幹事は一般幹事とする。

・監事 2名（議決権は有さないものとする）

2. 役員任期は、2か年とする。ただし再任は妨げない。

なお、役員は九州地区ならびに沖縄県に居住するものに限る。

第6条 1. 会長は本会を代表し、会務を統括する。

2. 副会長は会長を補佐し、会長が職務を執行できない場合、職務を代行する。

3. 幹事は本会運営に参画し、本会の円滑な運営を計る。

4. 監事は会計および会務を監査する。

第7条 1. 次期会長および監事は、役員会が候補者を推薦し総会で決定する。

2. 県代表幹事は九州地区ならびに沖縄県から選出された代表者とし、その数は各県の会員数に照らし合わせて別に定める。

3. 大学代表幹事は5大学小児歯科講座の推薦によって決定する。

4. 常任幹事は九州地区5大学歯学部小児歯科主任教授とする。

5. 次期役員は総会で決定する。

第8条 本会は毎年1回総会を開き会務の報告、会則の改正、役員選出、会計報告ならびにその他の議事を決定する。

第9条 本会は毎年1回会員による発表ならびに教育的事業を行う。

第10条 本大会は当日会費を徴収できる。なお会費は開催主体が役員に提出し、裁決にて決定する。

第11条 本会には顧問をおくことができる。

第12条 本会の事務年度は4月1日より翌年3月31日迄とする。

第13条 会務の円滑な運営のため、内規を役員会で決めることができる。

第14条 第8条の規定にかかわらず付則2、内規の変更に関し、役員会において行うことができる。

(付則)

1. 本会則は昭和58年4月から施行する。

本会則は平成20年11月23日から改正施行する。

本会則は平成23年10月10日から改正施行する。

2. 本会の事務局は、平成28年4月1日より下記に置く。

〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘8-35-1

鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科

小児歯科学分野

日本小児歯科学会九州地方会事務局

T E L : 099-275-6262

F A X : 099-275-6268

(内規)

1. 役員会は現在の年2回から必要に応じて年3回開催する。
2. 九州地区各大学においては、現在地方会会長をまだされていない教授の方々が多くなってきていることより、当分の間は大学の教授と開業医が交互に九州地方会会長として選出されることが望ましい。
3. 副会長は大学、開業医からそれぞれ1名選出する。監事は2名選出する。
4. 日本小児歯科学会への地方会推薦理事は会長が推薦し、役員会で承認する。
5. 一般幹事は、大学代表幹事（5名）と県代表幹事、福岡（2名）、長崎（1名）、熊本（1名）、大分（1名）、佐賀（1名）、宮崎（1名）、鹿児島（1名）、沖縄（1名）の計14名とする。
6. 幹事選出にあたっては、大学代表幹事は各大学の推薦による。また、各県代表幹事は各県下所属の会員による推薦によって選出する。ただし、推薦の結果や各県の事情によって決定に至らなかった場合は九州地方会会長に一任とする。将来においては、各地域において推薦された人を対象として選挙を実施し決定する方向が望ましい。

7. 幹事としてその任に対して十分にその責任を遂行できないと判断された場合は、九州地方会会長は注意勧告することが出来る。さらに改まらない時は役員会の合意を得て、推薦団体に対して責任を果たせる人選を依頼することができる。
8. 九州地方会本会からの大会援助金は一律50万円とし、大会長の要請があれば支出することができる。
9. 大会前日の役員会会議費は九州地方会会計から支出することとする。
10. 歯科医師の当日会費は一律5,000円とする。
11. 学会活動の活性化のため、大会開催以外の予算措置を含めた事業計画を立案し、役員会の承認により実施する。

役 職	氏 名	所 属	役 職	氏 名	所 属
会長, 地方会特別幹事	奥 猛志	鹿 児 島	県代表幹事	舩元 康浩	佐 賀
副会長	尾崎 正雄	福岡歯科大学	県代表幹事	高風亜由美	長 崎
副会長	山崎 要一	鹿 児 島 大 学	県代表幹事	京極 絵美	熊 本
常任幹事	牧 憲司	九州歯科大学	県代表幹事	木船 敏郎	大 分
常任幹事	野中 和明	九 州 大 学	県代表幹事	井上浩一郎	宮 崎
常任幹事	藤原 卓	長 崎 大 学	県代表幹事	重田 浩樹	鹿 児 島
大学代表幹事	西田 郁子	九州歯科大学	県代表幹事	竹島 勇	沖 縄
大学代表幹事	山座 治義	九 州 大 学	地方会推薦理事	田中 克明	佐 賀
大学代表幹事	岡 暁子	福岡歯科大学	地方会推薦理事	石谷 徳人	鹿 児 島
大学代表幹事	星野 倫範	長 崎 大 学	会計幹事(事務局)	橋口真紀子	鹿 児 島 大 学
大学代表幹事(事務局 庶務幹事)	佐藤 秀夫	鹿 児 島 大 学	広報幹事	長谷川大子	鹿 児 島
県代表幹事	空田 安博	福 岡	監事	久芳 陽一	福 岡
県代表幹事	橋本 敏昭	福 岡	監事	旭爪 伸二	宮 崎

義援金のお礼

我々、日本小児歯科学会九州地方会は平成28年4月14日に発生した熊本・大分地震の復興支援としまして、第34回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会会場において募金箱を設置しました。その合計金額は29,761円でした。ご協力いただきました皆様に深く御礼申し上げます。この義援金は日本赤十字社熊本支部へ送らせていただきました。1年以上経つ今も完全に復興しているとは言えない状況です。被災された方々の一日も早い復興を心から願い少しでも我々にできる事を続けてまいりたいと思います。

日本小児歯科学会九州地方会 会長 奥 猛志

編集後記

このたびの九州北部豪雨により被災された方々には謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

昨年の熊本・大分地震に続き、今年は九州北部豪雨と自然災害の脅威と隣り合わせであることを実感させられることが身近で起きています。先日、鹿児島でも震度5を記録する地震がありました。日頃から自らの周りの災害リスクを知るなど、防災対策をしておかなくてはと改めて感じ、平和な日常に感謝して過ごしております。

まだしばらくは残暑が続きそうです。皆さま、お身体をご自愛くださいませ。

最後になりましたが、今回のニューズレター作成にあたりご協力いただきました先生方に心より感謝いたします。

広報幹事 長谷川大子